

平成30年2月8日会議概要

第1 日時

平成30年2月8日（木）午前9時00分から午後2時20分までの間

第2 出席委員

石川委員長、渡部委員、平林委員、長谷委員、森委員

第3 全体会議

[警察幹部出席者]

警察本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、地域部長、刑事部長、交通部長、警備部長、京都市警察部長、近畿管区警察局京都府情報通信部長

1 委員報告

(1) 京都府・京都市教育委員会との意見交換会

○ **(石川委員長)** 先週の木曜日（2月1日）、京都府教育委員会、京都市教育委員会及び京都府公安委員会による意見交換会に出席しました。テーマは「少年非行の現状及び子どもたちを取り巻くSNS」でしたが、SNSは世界中とつながっている利便性の反面にある危険性を、家族、地域、学校、警察が、それぞれの役割の中で責任を持って教えることが、重要であると意見を述べました。今回で7回目となりますが、今後も引き続き、子供達の健全育成につながるよう意見交換を重ねていきたいと思っております。

○ **(平林委員)** 今回はSNSのあり方について意見を交換しました。数年前にも、意見交換会の場で携帯電話を持たせるかどうかについて、議論したことを覚えています。今回の出席者からは、その時に比べて劇的にスマホが普及し、今はSNSについて議論をしなければならない時代になったとの意見がありました。

私たちの日常生活や経済活動の中では、スマホには害があるが利便性も大きく、これを子供から取り上げることだけに終始しては、諸外国に遅れをとるのではないかと感じました。基本的な規範意識とスマホの長所・短所をしっかりと教えた上で、正しく利用させることが重要ではないかと思われました。

○ **(森委員)** 教育委員会は、いかにスマホを持たさないか、どのように制限を加えていくかという意見が多かったように思いました。今の子供たちは生まれた時からスマホに接していると言っても過言ではないので、当然持っているものとして教育することが大切であると思います。タブレットを用いる授業もある中で、スマホやSNSの正しい使い方をいかに教えるかが重要であると意見を述べました。

(2) 永年勤続者表彰式

(渡部委員) 2月1日に永年勤続者表彰式に出席しました。式典は非常に厳粛で表彰式にふさわしい雰囲気でした。受賞者は勤続30年の方で警察官としての責任感、使命感があふれていました。

(3) 京都府消防大会

(石川委員長) 2月4日に京都府消防大会に出席しました。地域住民の生命・身体・

財産の保護という面では、警察と消防は同じ目的を持っている組織であると同時に、消防団については防犯ボランティアと同じく、高齢化や人手不足という同様の問題を抱えておられるようでした。

2 報告事項

(1) 平成30年春の組織体制整備の概要について

警務部長から、平成30年春の京都府警察組織体制整備の概要について報告があった。

石川委員長から、「高齢運転者対策というのは運転免許証の返納だけなのか。」旨の質問があり、交通部長から、「運転免許証を返納しやすい地域では、自主返納制度の広報啓発活動の強化や、支援施策の充実に向けた自治体等への働きかけを行い、環境次第で自主返納が可能となる地域では、自治体等に対して交通支援施策、生活支援施策の導入について働きかけ、今後も自主返納することが困難な地域では、交通安全教育の充実・強化と安全サポート車の普及啓発というように、3本柱で対応している。」旨の説明があった。

(2) AR機能を活用した自転車盗防止路面シートの作製について

生活安全部長から、中京警察署と警察本部中心繁華街総合対策推進室事務局が、京都市等の関係機関と連携し、安全で安心できる地域づくりのため、自転車盗被害多発場所であるJR二条駅周辺及び木屋町地域周辺の駐輪場に、AR機能を活用した自転車盗防止路面シートを設置することについて報告があった。

(3) 9府県警察共同捜査による中国人犯罪組織「漢化組」に対する一斉集中取締りの実施について

生活安全部長から、京都府警・山口県警合同捜査班が、9府県警察共同捜査により、平成30年1月30日、日本のアニメ、ゲーム等を中国で使用できるよう言語・規格等を違法に変換している犯罪組織「漢化組」に対する一斉集中取締りを実施し、漫画の台詞を中国語に翻訳していた大学生の女ほか8人を通常逮捕等した旨の報告があった。

(4) 平成30年節分祭雑踏警備の実施結果について

地域部長から、平成30年2月2日と同年2月3日の両日催行された吉田神社節分祭の人出数、雑踏警備に従事した警察官数、主な取扱い等について報告があった。

(5) 「京都マラソン2018」に伴う交通対策の実施について

交通部長から、平成30年2月18日、京都市街地で行われる「京都マラソン2018」のコース、参加定員、主な交通規制、警察・主催者側の体制、テロ対策等について報告があった。

(6) 白タク行為の排除に向けた合同啓発活動の実施について

交通部長から、国土交通大臣の許可を受けない白タク行為（無許可タクシー）については、道路運送法違反であるとともに、近年では訪日外国人を対象とした白タク事案に対して社会的関心が高いことから、白タク行為の排除や安易な利用防止を図るため、平成30年2月13日に京都市中京区寺町商店街、三条商店街等のエリア内で、警察、国土交通省、京都市、地元等の関係機関・団体による合同啓発活動を実施することについて報告があった。

3 本部長報告

本部長から、

- 2月5日に府議会2月定例会が開会した。今定例会では、平成30年度当初予算の審議が主となるので、警察関連予算についても理解が得られるよう、また、本会議や委員会の審議を通じて、府警の活動に理解が得られるよう丁寧な対応に努めたい。旨の報告があった。

第4 個別会議等

1 審議事項

(1) 運転免許関係行政処分について

交通部聴聞官から、道路交通法の規定に基づく運転免許の行政処分に係る聴聞、意見聴取の結果について説明があり、審議の上、16件の行政処分を決定した。

(2) 公安委員会あて苦情等申出について

公安委員会補佐室室長補佐から、公安委員会あての苦情等申出に関して、調査結果及び通知案1件について説明があり、審議した。

2 報告事項

(1) 監察案件について

首席監察官から、監察案件について報告があった。

(2) 沖縄県警察に対する京都府警察職員の特別派遣について

警備第一課担当補佐から、沖縄県内の重要防護施設に対する警戒警備のため、沖縄県に京都府警察官を派遣する旨の報告があった。

(3) 当面の行事予定等について

公安委員会補佐室室長補佐から、次回の公安委員会定例会議及び出席予定行事等について報告があった。

3 検討

平成30年5月に京都市内で開催される16都道府県公安委員連絡会議について検討を行った。